

検討会の設置趣旨と検討内容について

1. 趣旨

- ・屋久島の山岳部は、世界遺産登録以後、入山者が増加し、登山道沿いの植生荒廃、施設の整備・維持管理、利用の集中による体験の質低下などの課題が発生した。しかし2008年以後は来島者が減少傾向に転じ、山岳部利用のあり方が転換期を迎えている。
- ・縄文杉登山はじめとする登山利用は、屋久島の重要産業である観光の大黒柱となっており、今や登山者の増減は島の社会・経済にも影響を及ぼす。
- ・登山利用に関して、これまで植生の保護や利便性のための施設整備と、し尿処理等の維持管理に迫られ、個別テーマについて議論等する際には議論の欠落が指摘されつつも山岳部全体の適正な利用についての議論ができず、世界自然遺産・国立公園管理者として計画的で前向きな利用体験の提供、利用者管理ができずにいた。
- ・このため、国立公園山岳部の自然環境を適切に保全して次世代に継承するとともに、山岳部利用者には屋久島らしい質の高い自然体験を提供することを目指して、利用についてのビジョンを定め、利用体験ランクに基づく施設の整備や利用者管理方策、サービス等を検討するための検討会を設置することとした。
- ・検討会では、利用者に屋久島らしい質の高い利用体験を提供するため、「山岳部の適正ビジョン」を作成する。
- ・2019年5月の豪雨では、鉄砲水や大規模な土砂災害が発生した。幸いにも登山者・観光関係者に死者はでなかったものの、屋久島山岳利用の安全な利用に関しても、本ビジョンに反映させる必要がある。

2. 全体の検討状況と本年度の到達目標

本ビジョン作成に向けた検討は、平成28年度より開始され、5年計画でのとりまとめを予定している。前半の3年で山岳部の適正な利用に関するビジョン、適正利用のための利用体験ランク設定、(管理)目標・方針の検討を行い、後半の2年で施設の整備と維持管理、利用者誘導と情報の提供、モニタリング等を検討するスケジュールとしており、本年度が最終年度である。

本ビジョンの骨子イメージのうち、前半3年間で「1. 作成目的」、「2. 背景」、「3. 対象区域」、「4. ビジョンと基本方針」、「5. 適正利用のためのあるべき利用体験ランク設定」、「6. あるべき利用体験ごとの(管理)目標・方針」について検討して決定した。

後半の2年となる令和元年度からは、「7. 施設の整備と維持管理」、「8. 利用者誘導と情報の提供」について検討を始めているところである。最終年度となる今年度は、これらに加え「9. モニタリング」及び「10. その他(管理体制・担い手確保等)」の検討も進めて取りまとめ、ビジョン完成を到達目標とする。

■屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部適正利用ビジョンの骨子■

	H28	H29	H30	R1	R2
1. 作成目的		→	済		
2. 背景 (1) 屋久島(山岳部)の特徴と価値 (2) 屋久島の歴史と社会の変遷 (3) 屋久島山岳部の保護と利用の状況 (4) 屋久島山岳部の保護と適正利用に関する取組経緯 (5) 屋久島山岳部の保護と適正利用の課題 (6) その他		→	済		
3. 対象区域			→ 済		
4. ビジョンと基本方針 (1) 一言フレーズ (2) ビジョン作成の前提となる認識と考え方 (3) 未来像・目標(50年後の目指す姿) (4) 基本方針		→	済		
5. 適正利用のためのあるべき利用体験ランクの設定 (1) あるべき利用体験ランク設定の考え方 (2) 利用体験ランク設定にあたっての前提となる条件 (3) あるべき利用体験ランク設定にあたっての留意点 (4) 各登山ルートのあるべき利用体験ランク			→ 済		
6. あるべき利用体験ランクごとの(管理)目標・方針		→	済		
7. 施設の整備と維持管理 (1) 施設の整備・維持管理水準 (2) 施設の整備・維持管理の方針・方策				→	→
8. 利用者誘導とサービスの提供 (1) 利用者誘導 ※例: 利用コントロール、ルールなど (2) サービスの提供 ※例: 情報提供方策など				→	→
9. モニタリング ※モニタリング項目・基準					→
10. その他(管理体制・担い手確保等)					→

2. 年間スケジュール

令和2年度は、検討会3回、シンポジウム1回を予定している。また、ビジョン策定を広く周知することを目的として、第2回検討会後にはビジョン概要の意見募集を予定している。

表1には、今年度中にビジョン完成を目標とした日程を入れている。ただし、感染症の情勢を鑑み、開催日または開催方法を変更する可能性もある。その際には、ご協力をお願いしたい。

表1 検討会（3回）、シンポジウム（1回）の議題

開催月	議題(内容)
第1回検討会 R2.9月24日(木) 13時～16時 ※Web会議	議事(1)～(4) (1)これまでの検討結果と本年度の検討内容について (2)ビジョン「7. 施設の整備と維持管理」の整備管理シート シートの提示、検討結果から随時精査し、第4回検討会で合意を得る (3)ビジョン「8. 利用者誘導と情報の提供、(1)利用者誘導」 ビジョンへの記載内容(案)提示、検討 (4)ビジョン「8. 利用者誘導と情報の提供、(2)情報の提供」 ビジョンへの記載内容について合意を得る (5)ビジョン「9. モニタリング」 考え方を提示 (6)ビジョン「10. その他(管理体制、担い手確保)」 考え方を提示 (7)地域住民を対象としたシンポジウムテーマ及び内容(案)について
第2回検討会 R2.12月4日(月) 9時～12時	議事(1)～(3)、※議事(3)はビジョンへの記載について合意を得る (1)ビジョン「8. 利用者誘導と情報の提供、(1)利用者誘導」 ビジョンへの記載内容について合意を得る (2)ビジョン「9. モニタリング」 ビジョンへの記載(案)提示、議論 (3)ビジョンの「10. その他(管理体制、担い手確保)」 ビジョンへの記載(案)提示、議論
意見募集 11～12月	「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部適正利用ビジョン(概要)」 の意見募集(募集期間は1ヶ月以上) ※意見募集範囲は屋久島町内、関係行政機関、地域関係団体等を想定
第3回検討会 R3.2月7日(日) 9時～12時	議事(2)～(4)※ビジョンへの記載について、合意を得る (1)ビジョン「7. 施設の整備と維持管理(最終案)」の整備管理シート (2)ビジョンの「9. モニタリング」 (3)ビジョンの「10. その他(管理体制、担い手確保)」 (4)ビジョンの見直し 考え方、見直し期間の提示 (5)地域住民を対象としたシンポジウムの開催について
シンポジウム R3.3月7日(日) 9時半～12時	地域住民を対象としたシンポジウム開催 「山を畏れ 山に学び 山を楽しむ～山・里・海の魅力あふれる屋久島～」 屋久島の目指す姿の実現に向けたシンポジウム パネルディスカッション形式